

# 地域適応コンソーシアム関東地域事業セミナー

## はじまりつつある地域での適応の取り組み

近年、強い台風や集中豪雨、干ばつや熱波などの異常気象による災害が各地で発生し、甚大な被害を引き起こしています。これら気候変動の影響に私たちはどのように対処していけばよいのでしょうか？関東地域で適応策に取り組まれている方々をお招きしてご講演いただきます。

### ◆ 講演1 「関東地域の現在と将来の気候変動」

東京管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 地球温暖化情報官 井上 博敬氏

夏は熱帯夜ばかり？強い雨が増えるのに雨の降らない日が増える？関東地域の気候がこれまでの百年でどのように変わってきたか、次の百年ではどうなるのか。気象庁の観測データと最新の気候予測結果について紹介します。

### ◆ 講演2 「気候変動の影響と私たちの暮らしー地域からの適応に向けて」

法政大学社会学部・地域研究センター 教授 田中 充氏

(環境省 S8 研究「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」サブ課題代表)

気候変動の影響が地域でも広がる中、温室効果ガスの排出削減を進める緩和策とともに、その影響を低減する適応策の必要性が増えています。講演では、気候変動の適応策の考え方、地域における具体的な取り組みと最新の動向について紹介します。

### ◆ 講演3 「まちづくりにおける気候変動の影響への適応」

(株) ミサワホーム総合研究所 環境エネルギーセンター 環境創造研究室 主任研究員 佐藤 理人氏

埼玉県熊谷市に建設中の『「涼」を呼ぶまち』をコンセプトにしたスマート街区で取り組んでいる緩和・適応策について、打ち水効果を利用したルーバー材等の技術事例と夏季を中心とした熱環境緩和効果を紹介します。

### ◆ 講演4 「静岡県内の各主体と連携して取組む気候変動の影響への適応策」

静岡県地球温暖化防止活動推進センター ゼネラルマネージャー 服部 乃利子氏

温暖化対策を展開する自治体の関係課職員への研修、熱中症等に対応する活動を普及する市民団体、総合学習のプログラムに適応策を入れ込んだ授業等、センターが各主体と連携しそれぞれの特徴を活かして取組む適応策について紹介します。

### ◆ 地域適応コンソーシアム関東地域事業のご紹介

科学的な知見に基づいた地域における具体的な適応策の立案・実施を推進するため、国、都道府県・政令指定都市、研究機関等が参画し地域適応コンソーシアムを構築しました。関東地域の事業について紹介します。

### ◆ パネルディスカッション

モデレータ：法政大学 田中氏

パネリスト：東京管区気象台 井上氏、ミサワホーム総合研究所 佐藤氏、

静岡県地球温暖化防止活動推進センター 服部氏

関東地方環境事務所

テーマ：私たちにとって身近な影響とは？私たちが取り組むことのできる適応策とは？

**日時** 平成30年1月31日(水)

**13:30 ~ 16:30 (13:00 開場) 参加無料**

**会場** ラフレさいたま 桃の間 (さいたま市中央区新都心 3-2)

定員：100名(先着)

申込方法：(1) 地域適応コンソーシアム関東地域事業セミナー希望 (2) 氏名(ふりがな)

(3) メールアドレスをご記入の上、tekiousseminar@tk.pacific.co.jp までメールをお送りください。

※ 関東地方環境事務所ホームページ (<http://kanto.env.go.jp/holding.html>) におい

ても同内容を掲載中

問合せ先：環境省 関東地方環境事務所 環境対策課

電話 048-600-0516 (代表)

事務局：パシフィックコンサルタンツ株式会社 環境・エネルギー政策部

電話 03-6777-1673 (直通)

